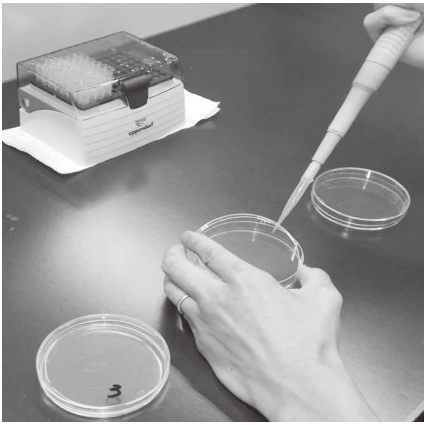


# 水質検査報告

安心してお飲みください  
 苫小牧の水道水

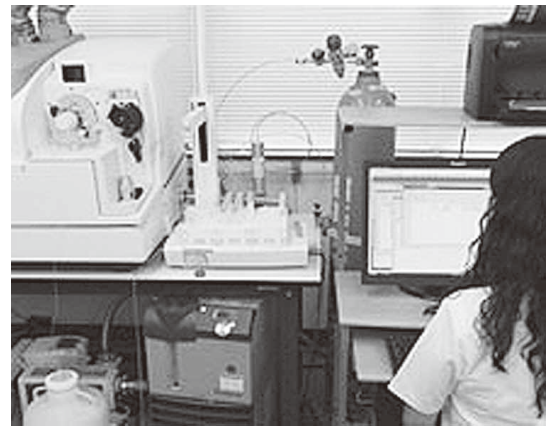
苫小牧市では、水道法に基づく水質検査計画を毎年策定し、定期的な水質検査を実施しています。検査は、水道の蛇口から出る水はもちろん、水源となる河川の水など、あらゆる箇所で行って、規定の水質基準項目を中心に行っており、全ての項目が水質基準に適合していることを確認しています。

この水質基準項目のひとつに残留塩素があります。法令では、消毒を目的として水道水1リットル中に0.1ミリグラム以上の塩素を含む状態にすること



細菌の検査

この残留塩素の値は、浄水場や市内各所の配水設備において24時間体制で監視されています。残留塩素が保持されることで、水道水の中に細菌や微生物などが繁殖するのを防いでいるため、衛生上の観点からとても大切な役割を担っていると言えます。



金属イオンの検査

水道水の水質試験結果（ホームページで公開しています。）  
<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kurashi/jogesuido/sokatsu/suido/suishitsunitsuite.html>

## 苫小牧市の水道水

### おいしさの理由

「おいしい」とご好評を頂いている苫小牧の水道水。

もともになる原水は、樽前山麓に広がる森から湧き出した清流で、自然豊かな苫小牧が育んだ賜物と言えるでしょう。

すっきり爽やかな喉越しの水道水ですが、ここでは少し視点を変えて、化学的な数値から「おいしさの理由」を検証してみましょう。

#### ① 蒸発残留物

水道水の中に含まれる物質の総量であり、一般的にはミネラル分と呼ばれます。ミネラル分の量が多いと苦み・渋味などを付けますが、適度に含まれていると、コクのあるまろやかな味になります。

#### ② 硬度

ミネラル分の中でも、味の面から特に重要なカルシウムとマグネシウムの含有量を炭酸カルシウムの量に換算したものを硬度といいます。

硬度は、高すぎると、しつこい味になり、小さすぎても、だれた味になります。

#### ③ 残留塩素

詳細は、前述のとおりですが、一般には殆ど気になりません。ただし、濃度が高いと、いわゆるカルキ臭を与え、水の味をますぐることもあります。

(水道水1リットルあたり)

	法令による基準 (※1)	おいしい水 (※2)	苫小牧の水道水
蒸発残留物	500ミリグラム以下	30～200ミリグラム	90～175ミリグラム
硬度	300ミリグラム以下	10～100ミリグラム	25～75ミリグラム
残留塩素	0.1ミリグラム以上	～0.4ミリグラム	0.3ミリグラム

※1 水道法第4条第2項の規定に基づく水質基準に関する省令による

※2 旧厚生省「おいしい水研究会」が昭和60年に発表した値

安全性の確保はもちろん、おいしさも兼ね備えた水。それが、苫小牧の水道水です。